

## 農業経営士、青年農業士認定

今年度、農業経営士は三戸町から1名、青年農業士は八戸市、五戸町、南部町、階上町、新郷村から各1名の計5名認定されました。

|   |   |
|---|---|
| <p><b>農業経営士</b></p> <p>氏名：<sup>よしだ きやか</sup>吉田 清華 氏</p> <p>市町村：三戸町</p> <p>品目：にんにくとその加工品づくり</p> <p>取組：有機質肥料を使用、農薬を減らした栽培を行っており、生産物の一部は青森県特別栽培農産物の認証を受けている。</p>  | <p><b>青年農業士</b></p> <p>氏名：<sup>いちかわ ひろや</sup>市川 広也 氏</p> <p>市町村：八戸市</p> <p>品目：肉牛肥育</p> <p>取組：「八戸毬姫牛」のブランド化に取り組んだほか、学校給食への食肉提供や、保育園児、幼稚園児による畜舎見学、農作業体験の受け入れ等を行っている。</p>  |
| <p><b>青年農業士</b></p> <p>氏名：<sup>ささき よしかつ</sup>氏名：佐々木 喜克 氏</p> <p>市町村：五戸町</p> <p>品目：ながいも、ごぼう、かぼちゃ、水稻など</p> <p>取組：1年子の切片から2年子を生産、種いもを十分に確保し、成いもの安定生産に努めている。</p>  | <p><b>青年農業士</b></p> <p>氏名：<sup>ひがし つかさ</sup>氏名：東 司 氏</p> <p>市町村：南部町</p> <p>品目：おうとう、りんご、あんず等の果樹複合経営、果樹の加工業、観光農園</p> <p>取組：自ら生産した農産物に加えて、周辺農家から加工作業を請け負っている。</p>          |
| <p><b>青年農業士</b></p> <p>氏名：<sup>せきあい たかゆき</sup>氏名：堰合 隆幸 氏</p> <p>市町村：階上町</p> <p>品目：ながいも、ねぎ</p> <p>取組：むかごと切片子による種いも生産の労力や成芋の品質などを比較し、自らの経営に合わせた栽培を行っている。</p>   | <p><b>青年農業士</b></p> <p>氏名：<sup>たきさわ ひろき</sup>氏名：滝沢 洋樹 氏</p> <p>市町村：新郷村</p> <p>品目：ミニトマト、寒締めほうれんそう</p> <p>取組：ミニトマトの売上げを少ない面積で高めるために、3本仕立て栽培に取り組んでいる。</p>                |



その他、管内の農業・農村の動きや農業普及振興室の活動状況はこちらをご覧ください！

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/sa-nosui/>

# みどりの通信

## 令和5年度第2号

〈三八地域県民局地域農林水産部〉  
 ・農業普及振興室  
 〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7番地  
 TEL：0178-27-5111（代表）  
 TEL：0178-27-4444（直通）  
 FAX：0178-27-3323  
 ・農業普及振興室分室  
 〒039-0134 三戸町同心町字同心町平54-7  
 TEL：0179-23-3264  
 FAX：0179-23-3274

## 県花の共進会で最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞！

「第49回青森県花の共進会」の表彰式が令和5年12月18日（月）、県総合社会教育センターで行われ、八戸農協の荻沢 功 さん（新郷村）がトルコギキョウ「ボヤージュライトピンク」で最優秀賞の農林水産大臣賞に輝きました。

共進会は7月21日（金）に県観光物産館アスパムで審査があり、出品された140点の中から、全体のバランスや花の質などを基準に11点を選定され、八戸農協からは最優秀賞のほか、優秀賞に佐野純一さん（新郷村）の輪ギク「精の一世」、金賞に館野隆行さん（南部町）のデイスパッドマム「チスパ」、千澤正知さん（三戸町）のトルコギキョウ「ボンボヤージュスイートピンク」が受賞しました。



最優秀賞のトルコギキョウ



表彰後の荻沢さん



## 令和5年産「あおもりの旨い米グランプリ」で準グランプリを受賞！

令和5年産「あおもりの旨い米グランプリ」表彰式が令和5年12月19日（火）、ホテル青森で行われ、三戸町の熊林 拓希さんが個人の部「はれわたり」で、三八管内では初めての受賞となる準グランプリに輝きました。

「あおもりの旨い米グランプリ」は、県産米の更なる評価向上に向けて、良食味生産の気運醸成を図るために平成27年度から行われ、今年で9回目となります。

熊林さんからは受賞に対し、「良食味生産のため、土壌改良資材としてケイ酸資材を投入し、田植え・収穫の適期作業に気をつけた。また、異常高温による品質低下を抑えるため、登熟期間中、数日おきに水を入れるよう心がけた。」とコメントがありました。



宮下知事から表彰を受ける

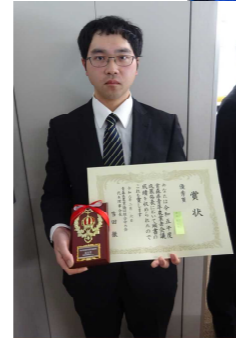
熊林さん

## 令和5年度青森県青年農業者会議で優秀賞を受賞！

三戸地区4Hクラブ連絡協議会は三戸町、南部町、田子町の農業青年10名で構成され、果樹、水稲、野菜、肉牛等の多種多様な経営体が特徴となっています。

今年度は水稲を栽培しているクラブ員4名で「令和5年度あおもりの旨い米グランプリ」に出品し、その結果を基に水稲勉強会を開催し、今年の栽培を振り返った上で来年の栽培計画を作成しました。

2月に開催された青森県青年農業者会議では、森崎祐市郎氏が「食用米の食味向上を目指して！～旨い米グランプリへの挑戦～」と題して発表し、優秀賞（プロジェクト発表第2位）を受賞しました。



優秀賞受賞



水稲勉強会の様子

## 「子育て農業女子の会」が地域共生につながる取組に挑戦

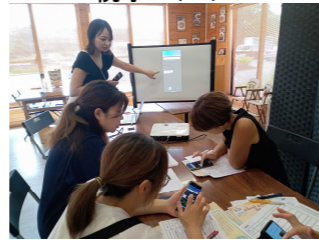
新郷村で農業に従事する若手女性4名が、令和5年6月に「子育て農業女子の会」を結成し、「農山漁村女性地域共生モデル実証」に取り組みました。

地域共生につながるよう、地域の「食」を活用した親子で楽しめる「親子カフェ」や「親子マルシェ」を開催するとともに、その活動をSNSで発信するために研修会を実施し、Instagram（インスタグラム）での情報発信を開始しました。

その結果、「親子カフェ」や「親子マルシェ」には多くの親子が訪れ、地域内の子育て世代の交流が進み、新たなコミュニティの形成につながりました。



親子マルシェ



SNS研修会

## 農福連携現地検討会を開催

令和5年10月10日（火）に「令和5年度三八地域農福連携現地検討会」を南部町の佐々木幸雄氏のりんご栽培ほ場で開催し、農業者、福祉事業者ら23名が参加しました。NPO法人三本の木フレンド（南部町）の利用者によるりんご葉摘み作業を見学したほか、佐々木氏と同NPO法人の林理事長から取組事例を紹介し、これを受けて参加者と現在の農福連携取組状況や今後の課題について意見交換を行いました。

今後も農福連携の取組が広がり、農業における労働力不足の解消や障がい者等の活躍が促進していくことを期待します。



現地検討会の様子

## 「三八地域にんにく省力化研修会」を開催

令和6年2月14日（水）に「三八地域にんにく省力化研修会」をグランドサンピア八戸で開催し、関係機関を含め57名が参加しました。

研修会では、野菜研究所の新藤研究管理監からドローンによる病害虫防除に関する試験結果の報告、ユートピアの会の沼田事務長からは農福連携による農作業補助労働力の活用について情報提供していただきました。また、当室からは管内における労働力実態調査の結果と、労働力不足の解消に向けてスマート農機を活用している先進地調査報告をしました。

今回の研修会が、にんにく栽培における労働力不足解消に向けた改善策の一助となることを期待しています。



ドローンの講義



農福連携の講義



## いちご炭疽病防除講習会を開催

令和5年の高温による影響でいちご炭疽病が多発したため、八戸農協、八戸苺生産組合、八戸市、産業技術センター農林総合研究所とともに、令和6年2月6日（火）に「いちご炭疽病防除講習会」を開催し、生産者20名が参加しました。

講習会では、炭疽病発生生態アンケート調査の結果から、短日処理時の遮光資材を開閉する工夫や早期防除の実施を徹底するよう呼びかけました。

生産者からは、耕種的防除や化学的防除に関する質問があり、再発防止に向けて次作の苗取り開始前に再度、対策内容の確認をすることとしました。



講習会の様子



## 国際水準GAP取組の拡大

近年、SDGs（持続可能な開発目標）に向けた取組が国際的に進められています。農業分野ではSDGsにつながる国際水準GAPの取組について、国内外の取引先や消費者から要求される機会が増加することが見込まれるため、県では生産者に対しての研修会を来年度も開催する予定としております。

GAPの取組について、興味がある方は農業普及振興室へぜひ御相談ください。